子吉川水系流域治水プロジェクト【位置図】

~流域全体で目指す水害に強い由利本荘市~

○ 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、子吉川水系においては、上流部が急勾配であり急激な水位上昇が生じる地形特性を考慮し、河川整備に併せて、民間企業と連携した水害に強いまちづくりや迅速な情報提供などの対策を組み合わせた流域治水の取り組みを実施していくことで、国管理区間においては、流域で甚大な被害が発生した戦後最大の昭和22年洪水(前線及び低気圧)と同規模の洪水が発生しても床上浸水等の重大な家屋浸水は防止し、流域における浸水被害の軽減を図る。



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

子吉川水系流域治水プロジェクト【グリーンインフラ】

~流域全体で目指す水害に強い由利本荘市~

●グリーンインフラの取り組み 『アユなどが生息する良好な生息環境を目指して』

- ○マスやアユ等の清澄な水を好む回遊魚が豊富に生息している他、コイやウグイ、マハゼ、カワヤツメ、シロウオ、モズクガニなど多様な魚種が確認されている。また、風物詩であるコイの追込み漁やゴリ漁などの伝統的な漁法が残っているだけではなく、ヤマメ釣りやアユの友釣りなど釣りも盛んに行われている。
- 魚類の生息環境となる瀬や淵、アユの産卵床などの良好な河川環境を目指し、多様な河川環境を保全するなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取り組みを推進する。



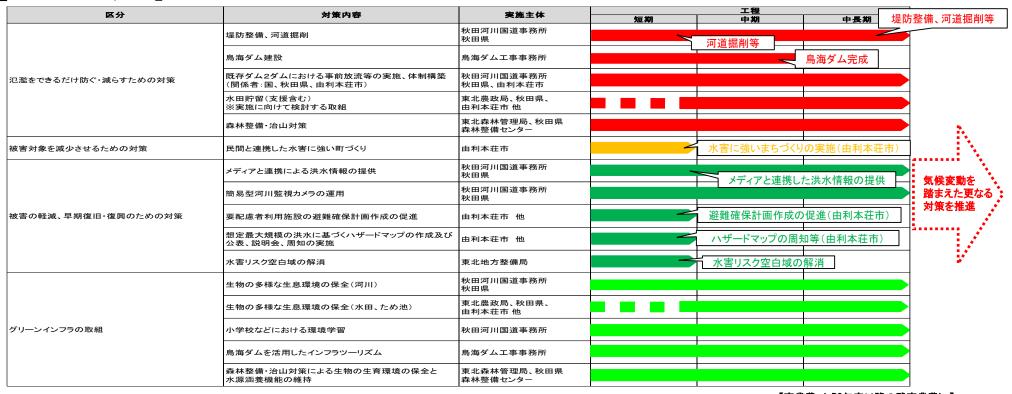
子吉川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

~流域全体で目指す水害に強い由利本荘市~

- 子吉川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
 - 【短 期】家屋浸水等で重大災害を防ぐため、主に河道掘削等を実施するとともに、安全なまちづくりのため民間と連携した水害に強い まちづくりの実施や水害リスク空白域の解消に努め、住民の避難行動を促すためハザードマップの公表、周知等を行う。
 - 【中期】床上浸水等の重大な家屋浸水を防ぐため、堤防整備、河道掘削、ダムの建設等を実施するとともに、簡易型河川監視カメラを 活用した避難体制の強化を図る。
 - 【中長期】堤防整備、河道掘削等を実施し、流域全体の安全度向上を図るとともに、メディアと連携による洪水情報の提供など、より確実な避難体制の構築を図る。

【ロードマップ】

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。※ ■■■■■:対策実施に向けた調整・検討期間を示す。



■河川対策 全体事業費 約1,240億円 ※1 対策内容 河道掘削、堤防整備、 烏海ダム建設 等

※1: 直轄及び各圏域の河川整備計画の残事業費を記載

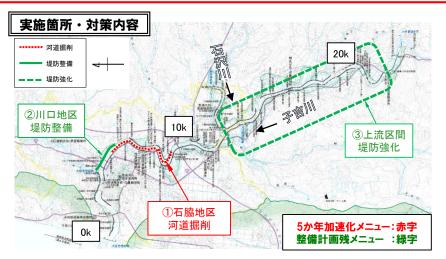
子吉川水系流域治水プロジェクト【事業効果 (国直轄区間) の見える化】

~流域全体で目指す水害に強い由利本荘市~

進捗と効果(R4.3版)

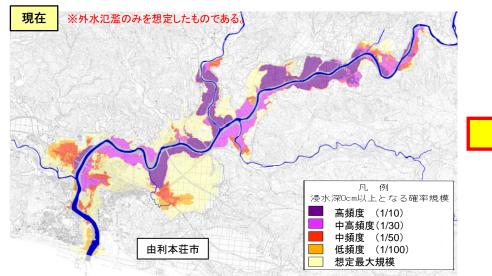
○石脇地区の河道掘削の進捗により、背後の由利本荘市街地の浸水リスクが軽減する。

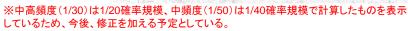
短期整備(5か年加速化対策)効果:河川整備率 約72%→約77%

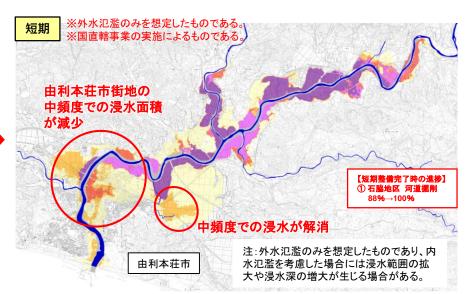




注:スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。







子吉川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

~流域全体で目指す水害に強い由利本荘市~

整備率: 77%



1 市町村



0施設





0 団体





46施設 12施設

(令和4年1月1日時点)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

●森林整備・治山対策 (東北森林管理局、森林整備センター、秋田県)

針水沢治山工事の状況 (由利森林管理署)

間伐の状況 (森林整備センター)





●河道掘削 二十六木地区の河道掘削状況 (秋田河川国道事務所)



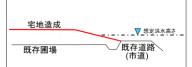
被害対象を減少させるための対策

- ●民間と連携した水害に強いまちづくり(由利本荘市)
- ・土地嵩上げにより浸水被害の減少を合わせた官民 連携による宅地造成を行う。

令和3年度:(官)都市計画決定(都市下水路、地区計画) (民)用地買収、造成着手(先行エリア)

令和4年度:(官)都市下水路整備着手、道路整備着手 (民)造成(先行エリア)





被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

●想定最大規模の洪水に基づくハザードマップの周知 (由利本莊市)

3河川

- ・令和3年3月に由利本荘市全戸に配布し、市公式 ホームページに掲載。
- ・由利本荘市ケーブルテレビで周知
- 令和3年度は、説明会実施。(19地区)



◎洪水の雨量基準を変更 これまで50年または100年に 1度の大雨を想定してたもの を千年に1度の想定で更新

